

▼ロミプレート皮下注 250 μ g 調製用 [注]

- 【重要度】 【一般製剤名】ロミプロスチム romiplostim (genetical recombination) 【分類】慢性特発性血小板減少性紫斑病治療薬
- 【単位】▼250 μ g/V
- 【常用量】初回 1 μ g/kg [1回最大 10 μ g/kg]
- 【用法】週1回 皮下注 [0.01mL 目盛り注射器等を用いて 1V あたり 0.72mL の注射用水を加え溶解して 500 μ g/mL の液とする]
- 【透析患者への投与方法】使用経験が少ないため慎重投与 (1)
- 【その他の報告】ITP に対して PSL と併用して 50~150 μ g の投与を行い血小板数の改善を認めた症例 (三浦裕子, 他: 透析会誌 47:743-7, 2014)
- 【保存期 CKD 患者への投与方法】使用経験が少ないため慎重投与 (1)
- 【特徴】慢性特発性血小板減少性紫斑病に適用. トロンボポエチン受容体に結合し, 造血前駆細胞に対して巨核球前駆細胞由来のコロニー形成を促進させる.
- 【主な副作用・毒性】血栓塞栓, 出血, 骨髄線維化, 頭痛, 倦怠感, 背部痛, 関節痛, 回転性めまい, 悪心, 疲労, 筋骨格硬直, 四肢痛など
- 【F】不明 (1)
- 【tmax】12~24hr (1)
- 【代謝】ペプチダーゼにより分解されると推定 (1)
- 【排泄】尿中回収率 87.7% [ラット, iv, 168hr まで] (1)
- 【t1/2】47.6~116hr [sc] (1)
- 【蛋白結合率】資料なし (1)
- 【Vd】資料なし (1) おそらく小さい (5)
- 【MW】59,085
- 【透析性】分子量が大きく, 除去されないと思われる (5) 資料なし (1)
- 【OW 係数】
- 【備考】出血リスクが高い場合にのみ使用. 既存の MDS などの血液悪性腫瘍を進行させる可能性がある.
- 【更新日】20190523

※正確な情報を掲載するように努力していますが, その正確性, 完全性, 適切性についていかなる責任も負わず, いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし, それらを利用した結果, 直接または間接的に生じた一切の問題について, 当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は, 日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。